

# 少年センターだより

令和元年5月25日  
発行  
日野町少年センター  
日野町河原1丁目1番地  
TEL/FAX 0748-53-1325  
<http://www.rmc.ne.jp/h.g.s.c/>

「犯罪にあわない安全な地域社会」を

目指して

東近江警察署日野警部交番所長

田村 知史

この春の異動により、東近江警察署日野警部交番の所長として着任しました。

日野警部交番は初めての勤務であり、戸惑うことも多々ありますが、地域の方々の温かい目で見守られ、気持ちよく勤務させていただいております。

また、交番管内の日野町は歴史ある街並みが随所であり、その歴史の重さを感じております。

着任時、前任者から

数年前までは日野町内にも非行少年は認められたのですが、現在はほとんど認められず、これは日野町少年センターや少年補導委員等の方々の活動により非行を防止されていると聞き、ありがたく思い感謝しております。



滋賀県警察マスコット  
けいたくん

また、日野町少年センターや少年補導委員等の方々と警察との合同パトロール等を実施させていただき、量販店等での少年に対する声掛けにより非行防止活動等の積み重ねにより現在の姿があるものと考えております。

しかし、少し視点を変えてみますと、中・高校生のほとんどがスマートフォンを持ち、インターネットを利用し、いろんな世界とつながりを持ち生活しています。

全国では、ツイッターやライン等のSNSを使って性犯罪などの被害にあう子どもが年々増加しています。

日野町の少年も例外ではなく、被害の対象となりえることから、その点も踏まえて声かけ等の街頭活動を強化していきたいと思えます。

交番の業務として、少年の非行防止・健全育成のための活動はもとより、交通事故防止や特殊詐欺の被害防止活動にも努めていき「犯罪にあわない安全な地域社会」を目指して交番職員一同頑張っていきます。



## 非行や犯罪被害の危険が多い「深夜の徘徊」 青少年の深夜の外出は 制限されています

「滋賀県青少年の健全育成に関する条例」で18歳未満の青少年は、深夜（夜の11時から翌朝5時まで）の外出が制限されています。これは、青少年を犯罪被害から守るためです。深夜は人目が少ないため、恐喝や暴行、性犯罪などの被害にあう危険もあれば、喫煙や飲酒などの不良行為を行うきっかけとなる誘惑も潜んでいます。交通事故にあう危険も増えます。

また保護者や保護者以外の大人でも特別な事情のない限り深夜に青少年を連れ出したり、同伴する事はできません。

これらのルールは他人や自分を守るためのものでもあるので、子ども達が開放的になる夏を前に、深夜徘徊をしてはいけないという事のルールについてお子さんと一緒に話し合ひましょう。



## 子育て小窓

ふとした出来事から嫌な思い出が甦り、突然ネガティブな気持ち心が広がるような経験。逆に、綺麗な景色を目にして涙が溢れたり、懐かしい香りにふと幸せを感じたりした体験。皆さんは有りませんでしたか？ 感情というのは実に多様で、自由奔放です。しかし、私たちはそうした感情を、コントロールできるものではないかと思いがちです。

例えば、転んで泣いて怒っている我が子に対して、皆さんはどのように声を掛けるでしょうか…？ 「大丈夫よ」「そんなに怒らなくてもよいのよ」と声を掛ける方もおられるかと思えます。確かに、泣くのを止めることや怒りを収めること(コントロール)は、生きていく上では必要なことです。でも「痛かったね」「悔しかったね」など、その子が今感じているであろう気持ちを受け止めていく時間もまた必要だと思います。受け容れてもらえているという思いの中でこそ、その子の中にある感情を育てていけるのではないのでしょうか。

色々な感情を無理にコントロールしようとするのではなく「受け止め、認める」「共有・共感する」ことで、子どもの感情だけでなく、自身の感情とも上手に付き合っていくようになることでしょう。

日野町子育て・教育相談センター N

## ひとりで悩まないでまずは相談を!

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。本人だけでなく、家族の方の相談も受けています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○電話相談

○面接相談

○相談時間：月～金 9:00～16:30

日野町少年センター（日野町勤労福祉会館 2階）

電話 0748-53-1325

E-mail [hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp](mailto:hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp)

## 不正大麻・けし撲滅運動

～5月1日から6月30日～

マリファナの原料となる大麻や、麻薬の原料となるけしに係る事件の発生は後を絶ちません。日野町でも大麻が不正に栽培されていたり、京都では中学生が大麻所持の疑いで逮捕されるという事件が発生しています。これらの事件の発生を防止するため、不正栽培の発見に努め、自生する大麻・けしを撲滅しなければなりません。もし、不正栽培または自生している大麻・けしを発見した場合は最寄りの健康福祉事務所（保健所）、又は警察署に連絡してください。

# 少年センターの活動



## 街頭補導活動

青少年の非行を未然に防ぎ、早期に発見、指導するため青色パトロール車による街頭補導や「愛の声かけ」を行っています。

- 少年補導委員等による街頭補導  
昨年度 56回 延べ247人
- 小学生の下校時パトロール  
昨年度 42回 延べ82人
- 中学校校門前での「朝のあいさつ運動」  
少年補導委員会・主任児童委員・保護司会・更生保護女性会で合同実施  
昨年度 31回 延べ105人



## 子どもの学習支援事業

基礎、基本的な学習内容が十分に定着していない中学生等に大学生のボランティアが将来の夢の実現のため、学習支援IPPPO（一歩）を行っています。



## 無職少年の支援活動

無職少年の自立に向けて、就労、就学について支援しています。

- 就職相談・紹介（ハローワークとの連携）
- 就労後の支援

## 関係機関との連携

家庭や学校・地域・関係機関団体との連携を図ります。

## 相談活動

本人・保護者・関係者等から少年に関する悩みや心配事の相談を受け付けています。また、内容によって他の相談機関や専門機関も紹介します。

## 非行防止啓発活動

地域や家庭が青少年の問題に関心を持っていただくように、青少年の課題解決に向け啓発活動を行っています。また、子ども達にも啓発活動を行っています。

- 「少年センターだより」年4回発行
- 氏郷まつりでの啓発活動実施
- ペープサートにより、幼児を対象に非行防止教室  
昨年度は7回開催



## 有害環境の浄化

青少年の健全育成のために、有害環境を浄化するための活動を行っています。

- 有害図書等の販売店立入調査
- 薬物乱用防止教室  
昨年度は日野高校（全生徒）  
小学校5校（6年生対象）で開催



## 少年補導委員の皆さん

少年補導委員は地域における少年の非行防止活動の中心的な役割を果たすため、街頭補導や啓発活動を行っています。

公民館	氏名
日野地区	町田 絹子（大窪5区） 池内美代子（上野田）
	岡登志男（村井1区） 櫻野 賢一（大窪1区）
	大宗正和気（五月台） 河副 正美（松尾2区）
東桜谷地区	小森 慶一（奥之池） 森田貴美恵（原）
西桜谷地区	谷口かおる（野出） 川原 繁（安部居）
西大路地区	岡村 忠一（音羽） 道津 豊吉（西大路1区）
鎌掛公地区	竹村 一男（鎌掛第2） 竹村 久子（鎌掛第5）
南比都佐地区	藤澤 義晃（下迫） 岸村 昌光（上駒月）
必佐地区	吉澤 茂樹（湖南物方） 安田 均（内池東）
	富田知津子（小谷） 富田 忠夫（上三十坪）
	山添 秀雄（山本） 岡崎 弘（中山西）

—お悔やみ—

少年補導委員会会長の森田貞夫さんが5月9日に急逝されました。森田さんは平成5年から少年補導委員としてご活躍いただきました。ここに哀悼の意を表すると共にご冥福をお祈りいたします。

## つぶやき

パトロールで日野駅に立ち寄ったところ、ホームでは学生が電車を待つ間スマホに熱中している。私が学生の頃には考えもできなかったツールであり、私自身、1年前までは従来型の携帯電話を使っていました。その頃は「スマホなんて・・・」と思っていた節があります。しかし、使ってみると便利で手放せなく、少し彼らが熱中する気持ちが分かったような気がします。

少年補導委員という文字を見れば少しいそうな役目のように思えますが、私は「子ども達の気持ちに寄り添い、見守っていく」というように愛情と理解「眼聴耳視（注）」が大事だと考えています。そのためには私たち大人にも、子ども達の気持ちを理解する知識や体験が必要であるのだなあ・・・と改めて感じたところです。

日野町少年補導委員 川原 繁

注：眼で見える変化を聴くように、聞こえる声の変化を視るように感じる事